

News Release

2017年7月10日

株式会社日立システムズ

Hitachi Systems Security Inc.

カナダのグループ企業であるアバブセキュリティ社の社名を 日立システムズセキュリティに変更

株式会社日立システムズ(代表取締役 取締役社長:北野 昌宏、本社:東京都品川区/以下、日立システムズ)は、セキュリティ事業の強化を目的に、Above Security Inc.(社長兼 CEO:日下部 明、本社:カナダ モントリオール市/以下、アバブセキュリティ)の社名を、Hitachi Systems Security Inc.(以下、日立システムズセキュリティ)に変更します。両社はさまざまな分野で強みを持つ日立グループ各社との連携を強化し、お客さまビジネスを守る先進のセキュリティサービスを積極的に展開していきます。

日立システムズセキュリティは、グローバル IT セキュリティサービスプロバイダーとして、これまで18年にわたってさまざまなセキュリティソリューションを提供してきました。日立システムズグループは、日立システムズセキュリティが持つ技術やセキュリティの専門知識を活用し、日立システムズセキュリティが自社開発したSOC(Security Operation Center)運用プラットフォーム ArkAngel をさらに強化し、セキュリティサービス市場での地位を確立していきます。

ArkAngel は、さまざまなセキュリティ情報やデータを収集し、お客さまの IT セキュリティチームに全方位でのリスク状況を把握するためのサービスを提供します。2015年に日立システムズが買収して以来、日立システムズセキュリティは、グローバルでの市場を拡大し、技術を革新し、高度セキュリティやコンプライアンスに適合したサービスを拡充してきました。現在、カナダとアメリカ、メキシコ、スイスにある4か所のSOCから、世界のお客さまに向けてサービスを提供しており、日本市場に対してもArkAngelと、日立システムズの「SHIELD SOC」を組み合わせた独自のサービスが、複数の自治体でクラウドのセキュリティ監視に活用されるなど、事業範囲を拡大しています。

今回の社名変更により、日立グループとの連携を深め、先進のセキュリティ技術を通じて、お客さまにより効果的なサービスを提供します。

近年、クラウド、IoT(Internet of Things)など新技術を活用する企業や組織が急増しており、それと並行してスマートシティのマネジメント、工場や無人設備など分散した現場環境の見える化などへのニーズは、さらに増加が予測されています。社会におけるITシステムやWebサービス、データの重要性が増す一方で、それらに対する悪意のある攻撃による情報の搾取やシステムダウンなどの被害が頻発しており、社会インフラの重要システムや、電力・ガス・水道などのさまざまなサービスがITネットワークにつながる、このような社会環境において、セキュリティ対策の重要性がより一層高まっています。

さらに企業や組織は、セキュリティへの攻撃が世の中の評判やブランドに大きく影響する重大な脅威であることを実感しています。セキュリティホールの急増、攻撃の複雑化や増加、日々目の当たりにしているマルウェアの精巧化、オンライン上に生まれる新技術によるぜい弱性の増加などにより、それらに対抗する強力なテクノロジーとソリューションが求められています。

日立システムズセキュリティは、サイバー、物理の両面を1つの統合的なセキュリティソリューションで守るという課題に取り組んでいます。この取り組みにより、企業全体および地域を越え、統合されたセキュリティを実現できるようになります。

ArkAngel は、グローバルな組織のセキュリティの状況を、常に監視・評価できるよう、セキュリティイベントとそれに関連するすべてのタイプのデータを収集、分類、正規化、分析し、一つの画面上に表示します。異常や脅威が、ビジネスシステム、知的財産、機密データ、または運用技術のいずれをターゲットにしているかを明らかにし、お客さまは被害を軽減する適切な対策を迅速に行うことができます。

日立グループは、社会や企業が抱える課題、ニーズをプロダクト、サービス、IT を組み合わせて解決する社会イノベーション事業を、グローバルに推進しています。日立システムズと日立システムズセキュリティは、世界的に高まるセキュリティ対策ニーズに、両社が有する技術や SOC に加え、日立グループ各社が持つ技術やノウハウを活用した新たなセキュリティサービスを提供していくため、連携を強化します。両社は、ビッグデータ解析、人工知能、機械学習をはじめとする先端テクノロジーなど幅広い分野を活用した先進のセキュリティ・サービスを通じて、安心・安全な社会を実現してまいります。

■日立システムズ 執行役員 畔柳 幹介のコメント

セキュリティ事業は、重要な IT サービスの一つであり、今後さらにニーズや重要性が高まると見込まれています。日立システムズには、長年にわたり日本市場で培ったセキュリティサービスの技術・ノウハウ、セキュリティサービス基盤である「SHIELD SOC」などの強みがあります。今回、アバブセキュリティを日立システムズセキュリティに社名変更したことで、同社との連携をより一層強化し、グローバルに標準化したセキュリティ運用サービスを日立グループ各社を通じて提供していきます。そして、さまざまな分野に強みを持つ日立グループ各社との連携により、先進的な IT サービスを生み出し、世界中の企業に向けて積極的に展開してまいります。

■日立システムズセキュリティ CSO Fadi Albatat のコメント

日立システムズセキュリティのお客さまは、新しい技術、最適化された運用手順、データインサイト(データの収集・蓄積・分析等)や、シームレスな顧客体験を通して、今まさに新しいビジネスモデルにおける価値への鍵を開けました。日立システムズセキュリティは、お客さまが、従業員、エンドユーザー、データを安全に保ち、自らのデジタルトランスフォーメーションに集中し続けるために必要不可欠な会社です。

日立システムズセキュリティは、日立グループの一員として、さまざまなセキュリティの課題を解決する革新的でグローバルなサービスやソリューションをお届けできるよう努力してまいります。高まっていくセキュリティサービスへのご要望はもちろん、多様な IT インフラや成長分野を予測し先手を打っていくことは、日立システムズセキュリティが挑むテーマであり、これまでも、そしてこれからも、お客さまの課題を共に解決していく唯一無二の会社でありたいと考えております。

■日立システムズセキュリティの概要(2017年7月10日現在)

商号	Hitachi Systems Security Inc.
設立	1999年
本社所在地	カナダ ケベック州モントリオール市
拠点	カナダ、アメリカ合衆国、メキシコ合衆国、スイス連邦
URL	http://www.hitachi-systems-security.com
代表者	社長兼CEO: 日下部 明
事業内容	・マネージドセキュリティサービス事業 ・セキュリティコンサルティング事業
資本構成	日立システムズ 100%

■日立システムズについて

株式会社日立システムズは、幅広い業務システム的设计・構築サービス、強固なデータセンター基盤を活用したアウトソーシングサービス、全国約300か所のサービス拠点とコンタクトセンターによるお客さまに密着した高品質な運用・保守サービスを強みとするITサービス企業です。日本のIT黎明期から先駆的に取り組んできたITサービスの実績・ノウハウを生かし、システムのコンサルティングから構築、導入、運用、保守まで、ITのライフサイクル全領域をカバーするワンストップサービスを提供しています。そして、ITの枠組みを超えてお客さまに新たな価値を創造し、お客さまからすべてを任せいただけるグローバルサービスカンパニーをめざしています。詳細は <http://www.hitachi-systems.com/> をご覧ください。

■日立システムズセキュリティについて

日立システムズセキュリティは、1999年設立のグローバルITセキュリティサービスプロバイダであり、お客さまの情報インフラ内にある最も重要でセンシティブなIT資産を、24時間365日体制で監視・防御するサービスを提供しています。同社のミッションは、すべての人々にとってインターネットをより安全な環境に保つことであり、これにより、人とビジネスに最大限の可能性を与え、先進的なコラボレーションと無限の技術革新をもたらす信頼関係を築くことができるようになります。

日立システムズセキュリティは、中堅・中小規模企業から、フォーチュン500に選ばれるような企業、特に金融業界や政府のような厳しい規制に基づいたプロセスの順守や、膨大な重要データの保管を求められる産業のニーズを満たすサービスを提供できます。

日立システムズセキュリティは、カナダ、アメリカ、メキシコ、スイスに合計4か所のSOCを有し、世界で250を超える企業や公共機関にサービスを提供した実績があります。

詳細は、<http://www.hitachi-systems-security.com> をご覧ください。

■報道機関のお問い合わせ先

株式会社日立システムズ CSR本部 コーポレート・コミュニケーション部 杉山、藤原
〒141-8672 東京都品川区大崎一丁目2番1号
TEL:03-5435-5002(直通) E-mail : press.we@ml.hitachi-systems.com

以上

*記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。